

豊川市議会傍聴記

地方政治
クリエイト

伊藤 秀昭

コンパクトシテ

石原政明氏(とよかわ未来)は策定中の第六次総合計画基本構想案について聞いた。

企画部長は第六次では定住促進と交流促進にインパクトを与える施策を明確にした計画づくりを進めていくとした。

中心市街地への政策誘導でまちの風格を

「ファミリースポーツ事業や夜間養護事業などで十分補完していると考えている」とし、保育士の確保や、夜間の防犯対策、夕食などの提供、防音対策などの課題も示した。

富田氏は保護者の要望に応え延長保育の整備計画について取り上げた。

そのなかで災害時における下水道管などの耐震対策について聞いたが、これには上下水道部長が石巻市への復興支援の経験から、「被災はしていても家庭からは汚水が流れてくる

携して豊川市の耐震対策に生かしていくとした。

今泉氏は「豊川市は東三河広域連合とどのように連携していくのか」と聞いた

3月議会に続いて、豊川市議会の3日間の一般質問を傍聴した。

導と交付金事業で、豊川市の中心市街地である諏訪地区とその周辺地域への居住誘導を提案し、同計画に積極的に取り組んでいくよう要請した。

富田氏は保護者の要望に応え延長保育の整備計画について取り上げた。

そのなかで災害時における下水道管などの耐震対策について聞いたが、これには上下水道部長が石巻市への復興支援の経験から、「被災はしていても家庭からは汚水が流れてくる

携して豊川市の耐震対策に生かしていくとした。

今泉氏は「豊川市は東三河広域連合とどのように連携していくのか」と聞いた

また、平和都市宣言をしている市としての意見を表明する考えについて

一問一答で進行するので分かりやすいのだが、3日間で議場が沸いたのは、一日目の野本氏の質問の中で、「市長の誕生日を覚えているのは、私の妻の誕生日と同じだからです」ときだけ。

延長保育

富田潤氏(とよかわ未来)は市内48の保育園すべてが午後6時までの延長保育を実施しているが保育時間を延長していくことについて問題提起した。

時間的に積極的に取り組むべきだと主張したが、今年度からの「子ども子育て支援新制度」は「まだまだこれから」を印象づけた。

管の継手の強化や抜け出しの防止などの耐震対策の重要性を語り、今年度からの同施設の維持管理計画及び長寿命化計画と連

ば「東三河広域連合」があり、同連合が定める計画や東三河県の「安全確保整備法案」について、いく

佐藤郁恵氏(共産)は国会で審議中の「安全確保整備法案」について、いく

方公共団体として答える立場にはない」とした。

また、質問者が施策の現状を聞く、当局は早口で延々と施策の概要を答弁するのだが、その

下水道事業

中村浩之氏(とよかわ未来)は下水道整備の現状と今後の

管の継手の強化や抜け出しの防止などの耐震対策の重要性を語り、今年度からの同施設の維持管理計画及び長寿命化計画と連

ば「東三河広域連合」があり、同連合が定める計画や東三河県の「安全確保整備法案」について、いく

佐藤郁恵氏(共産)は国会で審議中の「安全確保整備法案」について、いく

方公共団体として答える立場にはない」とした。

国民にはまだまだ理解が進んでいない問題ではあるが、豊川市に態度表明を求めるのも無理ではないのか。

また、質問者が施策の現状を聞く、当局は早口で延々と施策の概要を答弁するのだが、その



◇